

| 4 番   | 松原 大介 議員  |  |
|---|---|--|
| 質問タイトル (大項目)  | 質問項目 (中項目)  | 具体的質問内容 (小項目)  |
| <p>1. 令和9年4月から始まるプラスチック製容器包装の週2回収をスムーズにスタートさせるために</p> <p><b>【質問趣旨】</b><br/>令和8年3月定例会において、プラスチック製容器包装の回収回数を、従来の月2回から、令和9年4月より週2回へ変更していく意向であることが明らかになりました。<br/>プラスチック製容器包装の回収回数の増加については、市民の皆様をはじめ、議会からも常に要望が挙げられており、その要望は月2回から週1回への増加でありましたが、さらにその2倍、現在の4倍である週2回という形で実現の見込みとなっています。<br/>(次ページへ)</p> | <p>(1) プラ週2回収が実現する見通しになった経緯について</p> <p>(2) 令和9年4月から見込んでいる収集体制について</p> <p>(3) 想定される懸念点と対応策について</p> | <p>① プラスチック製容器包装の回収頻度の増加は、プラ収集を始めた令和4年10月以降、市民から望まれていました。当初は燃えるごみ袋の値上げなくして実現は難しいとの意見もありましたが、令和9年4月から実現する見通しになった経緯について伺います。</p> <p>① 現行の収集運搬体制から、どのような収集運搬体制に変わっていく予定であるのか、プラスチック製容器包装に限らず、全般的な体制について詳しく伺います。</p> <p>② 一家庭の視点から見たとき、現行からどのような体制になっていく予定であるのか、例も挙げていただきながら、わかりやすく説明を求めます。</p> <p>① プラスチック製容器包装の回収頻度が現行の4倍になることから、市民の利便性が高まり、ごみ分別・ごみ減量がより推進されることが期待されますが、体制が大きく変わることから、変更当初は一定の混乱や誤解が生じることが懸念されると考えますが見解を伺います。</p> <p>② 大きな変更点として、プラスチック製容器包装資源袋の排出場所が、従来の資源物置場から燃えるごみ置場に変わる可能性があります。新たな収集体制として、燃えるごみ袋とプラスチック製容器包装の資源袋を同日、同じ燃えるごみ置場に出すことになっていますが、現状すでに燃えるごみ置場が狭い場所に対して、さらにプラスチック製容器包装の資源袋を出すことに不安の声はないのか伺います。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 4 番  | 松原 大介 議員   |  |
|--|------------|--|
| 質問タイトル (大項目)   | 質問項目 (中項目) | 具体的質問内容 (小項目)  |
| <p>これは大変喜ばしいことでありますが、同時に、大きく変わる収集体制への懸念も発生しているのが現状です。</p> <p>現時点において、どのような収集体制にしていく予定なのか、どのような課題が想定されているのか、その対策はどうしていくのか。</p> <p>新しい収集体制が始まるまで、まだ10ヶ月ほどあることから、様々な対応が可能です。令和9年4月から始まるプラスチック製容器包装の週2回収集が、スムーズにスタートしていくことを目指し、質問していきます。</p> |            | <p>③ 現状、市内の燃えるごみ置場は、資源物置場の約5倍あることから、そこにプラスチック製容器包装の資源物袋を出せることは、市民の利便性は高まると考えますが、燃えるごみと同日同所であることへの懸念は現時点で拭いきれないと考えます。市民の生活目線と、道路通行の安全性、収集業者の作業効率性、それぞれの視点で見たとき、場所によっては、プラスチック製容器包装の資源袋の排出場所が従来の資源物置場のほうがよい場合も一部存在するのでは考えますが、見解を伺います。</p> <p>④ この場合、環境課のみで上記の判定は難しいと考えます。まだ新体制まで時間があることを活かし、市民の利便性を確保する視点で、自治会及び町内会の力を借り、プラスチック製容器包装の排出場所が「燃えるごみ置場がよいか、資源物置場がよいか」細かく選んでいただく調査をし、箇所箇所での対応を決めていってはどうかと考えますが見解を伺います。</p> <p>⑤ ごみ減量・ごみ分別促進、燃えるごみ置場の容量、これらの観点から、45Lの大きい燃えるごみ袋より、小さい燃えるごみ袋の利用の促進は必要と考えます。そのため、大きい燃えるごみ袋より小さいごみ袋にインセンティブが生まれる仕組み、資源袋を使うことにインセンティブが生まれる仕組みを、今後検討してはと考えますが見解を伺います。</p> <p>⑥ 新体制へのスムーズな移行は、事前の周知の徹底と、現場の見える化、市民・町内会・自治会との相談・協働による取組が必要だと考えますが、今後の方策について伺います。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 4 番   | 松原 大介 議員                        |   |
|---|---------------------------------|---|
| 質問タイトル (大項目)  | 質問項目 (中項目)                      | 具体的質問内容 (小項目)   |
| <p>2. 教育現場における安全対策・熱中症対策について</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>本年5月、新潟市の高校部活動の遠征時にマイクロバスの事故が起き、高校生の死傷者が発生してしまいました。</p> <p>また、3月には高校修学旅行中に辺野古沖にて船転覆事故が起きるなど、痛ましい事故が続いています。</p> <p>そこで、本市における校外活動時の安全対策について伺うとともに、近年の猛暑における熱中症対策として行っている本市の取組みの現状と今後について伺っていきます。</p> | <p>(1) 本市小中学校の校外活動の安全対策について</p> | <p>① 校外活動とは、校外における多様な集団活動を含む教育活動として扱われ、一般的に修学旅行・野外活動・社会見学・職場体験・遠足などを指します。これまで本市では、それら校外活動の安全対策について、どのような基準で行なわれているのか伺います。</p> <p>② 令和8年4月7日文科省より「学校における校外活動の安全確保の徹底等について(通知)」が発出されております。これは3月に起きた校外活動中の生徒に死傷者が出る重大な事故を受け、対応の徹底を求めるもので、本年度の学校における校外活動の実施に当たり、改めて安全性が確保されているか、その実施内容が適切であるかについて確認いただくとともに、必要に応じて見直しを図っていただくようお願いするものでした。これを受け、本市ではどのような対応を取っているのか、具体的事例も含めて伺います。</p> <p>③ 安全対策・安全管理の徹底は必要である一方、多くの校外活動が自粛されたコロナ禍のような対応に戻ることは、「実体験の機会」の損失に繋がりがねないと危惧します。校外活動の教育的意義と、校外活動の安全対策のバランスについて、今後どのように考え取り組んでいくのか伺います。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

| 4 番          | 松原 大介 議員   |   |
|--------------|--|---|
| 質問タイトル (大項目) | 質問項目 (中項目)   | 具体的質問内容 (小項目)   |
|              | <p>(2) 校外活動と熱中症対策について</p> <p>(3) 教育現場における熱中症対策について</p> | <p>① 中項目1で質問した重大事故を踏まえての校外活動の安全対策に加え、近年では猛暑に対する熱中症対策も、校外活動時に必要な対策となってきました。しかしながら、「暑すぎるので遠足は中止」というような対応は子どもたちにとっては残酷です。本市では、校外活動の熱中症対策についてどのような取組みを行っているのか、課題と対策について伺います。</p> <p>① 小中学校体育館のエアコン設置について、昨年9月定例会の一般質問での答弁では、「令和8年の夏までに稼働できる学校数については、工事の準備期間や資材の納入時期などを考慮すると、3校程度になるものと考えている。」とのことでした。昨今の中東情勢による資材不足などを考慮すると、工期の遅れなどが心配されますが、最新の状況について伺います。</p> <p>② 本市では、小学生の下校時や屋外活動の暑さ対策として、ネッククーラーや冷感タオルを冷やすために、小学校全ての普通教室に冷凍庫を設置しました。昨年の2学期以降の設置であったため、今夏が本格稼働になるのではと想像しますが、現時点において現場からはどのような声が届いているのか、また冷凍庫の活用方法について、各校工夫していることなどを共有するような取組みも必要だと考えますが見解を伺います。</p> <p>③ 上記のほか、本市の熱中症対策としては、日傘の推奨・帽子の着用・置き勉の推奨など個人に向けた対策のほか、民間プール活用の推進・運動会や校外活動の時期の変更など様々行っています。「今年の夏」に焦点を当てたときどのような取組みに注力していくのか伺います。</p> |

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。